

奉政報告第百廿七號

明治三十八年十月廿四日 奉天軍政委員小山秋作

滿洲軍參謀福島安正殿

奉天ニ於ケル本邦人ノ居住印鑑營業鑑札及商工業
視察者ノ止宿通門證ノ下附ニ関スル規則案別紙ノ通
起稿致候条及報告候也

滿洲軍總司令部

居住印鑑、營業鑑札及止宿通門証

下附ニ関スル規則案

第一條 奉天(城内又ハ城外)ニ居住ノ許可ヲ得タル者(雇人ノ類ヲ含ム)ハ居住許可ノ印鑑ヲ受ク可ク然レモ營業ノ許可ヲ得タル者ハ營業許可ノ鑑札ヲ受ク可シ

第二條 印鑑鑑札ニ記載セル要矣ニ異動ヲ生シ又ハ印鑑鑑札ノ要部ヲ毀損シタル時ハ原印鑑鑑札ヲ返納シテ書換ヲ受ケ又印鑑鑑札ヲ紛失シタル時ハ其事由ヲ具シテ再下附ヲ受クベシ

第三條 奉天(城内外)以外ノ地ニ轉住セントスル者ハ即日居住印鑑(營業者ニ在ラハ營業鑑札ヲ併セ)ヲ返納

滿洲國總司令部

ス可シ

第四條 實業上視察、為メ城内ニ止宿セントスル者ハ奉
天居留民事務係(奉天停車場内)ニ旅行許可證ヲ呈
示シ城内止宿城門通行、許可證ヲ受ケ可シ

第五條 視察者出發スル時ハ止宿通門證ヲ奉天居留
民事務係ニ送納ス可シ

第六條 當該官吏憲兵又ハ衛兵ニ於テ印鑑鑑札又ハ
止宿通門證ヲ檢閲セントスル時ハ即時ニ之ヲ提出ス可シ

第七條 印鑑鑑札止宿通門證ヲ他人ニ貸與シ又ハ
他人ヨリ借用シ又ハ送納ス可キ者若シクハ拾得シモノ
ノヲ使用スルヲ許サズ

第八條

本規則ノ条々ニ違背シタル時ハ印鑑鑑札又ハ止宿通行門証ヲ没収シ尚其情状ニ照シ退去又ハ營業停止ヲ命ジ又ハ二十五日以下ノ罰銀ヲ科スルコト有ル可シ

城内居住許可印鑑雛形 堅ニ寸五分横一寸八分

第 肆 拜

居住許可之證

明治三年何年何月何日

表

何府縣士族(平民)

東 奉天軍政署印

何業(何某直人)姓名

奉天何ヶ街何号居住

城外居住許可印鑑雛形 堅ニ寸五分横一寸八分

滿州軍政司印

第 辨

居住許可之證

明治三十年何月何日府

表

何府縣士族(平民)

裏 奉天與訪月令部

何業(何業雇人)推衣

生年月

奉天城外何村居住

城内營業許可鑑孔雛形寸法全上

第 辨

營業許可之證

明治三十年何月何日下府

表

奉天何街何号

裏 奉天軍政署印

何業(高辨何)

姓名

生年月

城外營業許可證札雛形寸法全上

第 肆 群

營業許可之證

明治三年何年何月何日附

表

奉天城外何村

裏

奉天岳張口之於

何之業(商號何)

姓名

生年月

止宿通門許可証雛形

止宿通門証

原籍

住所

青洲洋行總司合部

| | | | | | | | | | | | |
|--|-----|-----|-------------|--------------|---------------|------------|--------|--|--|--|--|
| | 姓 名 | 生年月 | 右 視察ノ為ノ本日ヨリ | 月 日 マテ 日間城内ニ | 止宿シ城内ヲ通行スルヲ許ス | 明治三十何年何月何日 | 奉天軍政署印 | | | | |
|--|-----|-----|-------------|--------------|---------------|------------|--------|--|--|--|--|

清沙目録三ノ四